

●しゃらくかい

写楽回会

令和元年11月30日 47

<http://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>

投稿/投票宛先; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2019 Sharakukai

霜月兼題「空の旅」 出題：読者 JAさん

写真俳句



1 老二人病も癒えて秋空へ

この2,3年二人が次々と大きな手術を受けましたがそれも癒え、今年ようやく海外旅行することができました、写真はヘルシンキ上空です。



2 雲の上旅の始まり秋の暮れ

甥が撮った写真ですが、空の上の雲はいろいろあって、時々感動します。



3 ひたい付け機窓に魅入る積乱雲

積乱雲の迫力に思わず見入ってしまいました。命が有るが如し。



4 秋空をふわり南へアサギマダラ

何百キロも移動し海をも渡る蝶アサギマダラ。春は北上、秋には南下。

※アサギマダラの写真が無いためパソコンより探しました。

5 秋の原空へと誘う鳥の凧



6 秋天に絶叫残す空の旅

音もなくさやけし空の雲の旅



7 音もなくさやけし空の雲の旅

秋高し更にその上空の旅



8 秋高し更にその上空の旅

俳句



機内空路地図：読者JAさん

1 次々と雁着水し 旅終わる

シベリアからの飛来でしょうか、渡り鳥が川や湖に来て羽を休めています。

2 冬銀河はやぶさ何処宙の旅

ミッションを成功させ2020年末に地球に帰還するはやぶさ2。

3 林檎食む寝入る機内に眠れぬ吾

4 夜間飛行毛布抱えて空席へ

空席があったら横になって寝なくては（エコノミーの辛いとこ）。

5 向かい風空たび休らう渡り鳥

向かい風がきつく動けなくなり電線に並んでいました。

6 空冴えて15分の旅観覧車

夜空へテークオフ冴え渡る夜景に感激。

7 ドローンが空の旅へと誘いくる

8 見送りのローカル空港霜の朝

季語が動く駄句ですが、ちょっと思い出があるのであえて。

短歌

行く先はジャパンと孫は飛行機を見上げて高くブランコをこぐ



北切雀

この時孫は四歳。北イングランドから日本への直行便はありません。

川柳

四分六でウインウインと満足気 準坊

家事仕事たまには恩赦賜りたい 準坊

「アーンして」むかしラブラブいま介護 (2013年ポプラ社発行 シルバー川柳 2) 抜粋

定年で田舎戻ればまだ若手 安松文次

その昔恐竜見たかと問う曾孫 (ひまご) 岡崎万紀子

妬ましや妻の犬への言葉がけ 西岡博

置き忘れ知られたくなく大掃除 熊井つぎえ

写真投稿

iSAMU 3点



郁子 (むべ) の実

むべなるかなの郁子です。
アケビと違い実が割れません。

蝮草の実



柘榴の実

令和元年10月「秋の草花（含 秋の七草）」（出題者：池福楼）の作品と投票結果

<< >>は作者コメント、* は読者コメントです。

写真俳句 投票数：24

一席

鶏頭は種を鳴らしてフラメンコ 北切雀（6票）



- * 花弁がフラメンコドレスのフレアの様ですね。面白い句です。オーレ！
- * この鶏頭の色、珍しい？ 鶏頭だけを切り花にして花瓶に生けたのも珍しい気がします、素敵！！句の配置も良くてポストカードにしたいくらいです。花を上からアップにしたくらいです。花を上からアップにした撮影角度が効いて、重くて動かないイメージの花なのに、激しく揺れ動くスカートの裾にしか見えてこなくなるから不思議。楽しくて明るい句と相乗効果でいい感じ！！
- * 鶏頭の種の鳴る音（？）聞いた事無いけど揺れたらフラメンコみたいかな。
- * フラメンコのフリルのスカートを鶏頭の花にみたてた比喻がとても面白い。花が情熱的に見えますね。



花野風うす紅色のマスゲーム 池福楼

<< 花野風：秋の花をゆらす風 >>

- * 句に合わせたイメージ写真の加工に少し無理がありますね。
- * 秋という渋い季節にこのピンク色、秋桜とはよく言ったものですよね。しなやかに一斉に秋風に揺れる演技、野原の運動会、しなやかに一斉に秋風に揺れる演技、野原の運動会、とってもきれいな写真で好きです。
- * 華やかなコスモスの花が、まるでダンスをしているようですね。



すすき揺れ水面に映える銀の波 久芽

<< すすきの穂が銀色に輝いていました。兼六園の霞ヶ池にて。 >>

- * 絵葉書のような完成度の高い写真。句と共に心が落ち着く。
- * 句も、写真もとてもきれいです。



そよぐたび素直になりし秋桜 準坊

<< 野辺に咲き風に揺れるコスモスは正に秋の風物詩。 >>

- * コスモスの可愛さをとらえた写真と句です。
- * 日本語の良さを感じました。
- * 中七の「素直になりし」がコスモスの揺れるさまをよくあらわしています。
- * そよぐ とか 素直 とか 秋桜と向き合う作者の優しい眼差しを感じました。



花葛 (はなくず) の蔓延 (はびこ) り咲いて七草の iSAMU

- * アップで見ると葛は蘭のようですね。



銀色のうねりゆたかなすすきかな 千泉

<< 一面のすすきがいっせいに風に揺れる様が豪華でした。 >>

- * さしずめ日本版「嵐が丘」でしょうか。手書きのような文字フォントと、殆どがひらがなという句も素敵です。
- * 素敵なお表現ですね。
- * 見ごたえのあるすすきですね。すすきにはやはり風でしょう。



どちらかな秋の花より食べる柿 梵木

- * 私は自他ともに認める花より団子人間。
- * 美しい花も食欲には勝てない。写楽句会の良さともいうべき、句法の既成の枠に納まらない言葉選びが斬新。



啄木の愛でし北上萩の花 昼寝覚

<< 盛岡市を流れる北上川の岸辺に啄木の碑がありました。 >>

- * もう少し写真をアップして碑の句が読めると良かったですね。
- * 萩の風情は本当に好きです。
- * 啄木の碑こんなところにあるのですね。
- * まるで萩の花が啄木を慰めて咲いているように見えますね。

俳句 投票数：21

一席

曼珠沙華色鮮やかに降臨す 久芽 (5票)

<< 天上に咲く花と言われる曼珠沙華。何となく不思議な花ですね。 >>

- * あの赤い姿が群れ咲く様は壮観で見とれてしまいます。まさに降臨という言葉が異世界から急に現れたようでおもしろいです。
- * 「降臨す」の表現が秀逸。
- * 曼珠沙華の花畑の風景は、現世離れしていますよね。

佳作7句 (令和元年9月号掲載順)

野に一輪自生めずらし桔梗咲く 池福楼

- * 時々こんな所に、と思う花を見つけることがありますね。
- * 野に咲く桔梗は、凛として素敵ですよ。

揺れあうて黄の風になり女郎花 (おみなえし) 準坊

<< 黄色の鮮かな女郎花は野によく合いますね。 >>

- * 綺麗な句ですね。

ぷっくりは桔梗のつぼみ孫の頬 北切雀

- * 桔梗のつぼみのふくらみは本当にかわいい。子供のころはついパンツと手の平でたたいてみたかったのですが、孫のほっぺに例えたらこれは絶対両手でなでたいですよ！！
- * 可愛い盛りのお孫さんなんですね。
- * お孫さんの可愛らしい顔はつぼみの可憐さと相通じるものですね。

街の暮萩をも揺らすビルの風 梵木



秋の七草：池福楼

群れ咲ける赤より強し白彼岸 昼寝覚

- * 今年は何故か白い彼岸花をよく見かけました。
- * 最近白い彼岸花が目立っています。
- * 白い彼岸花は弱い感じがしていたのですが、こんな見方もあるんですね。

三万歩来て泥の靴野に桔梗 一枝

<< 実家の家紋が桔梗だったこともあり、桔梗には特別な愛着があります。疲れた時も癒される！>>

- * 「三万歩」という大きな数詞から泥靴へ、さらに足元の桔梗へと視線を招いて、最後に可憐な桔梗の残影、...と巧な一句。
- * 「さんまんぼ」と軽快なリズムの句ですが、それって20Km以上？恐れ入りました。
- * 自然を楽しむハイキング。桔梗の花の発見が疲れの中にほっとするひととき。

秋草や遠くに聞ゆ草刈機 千泉

<< 広い公園内で何日もかけて草を刈っていたのですが、すすき他も刈られてました。>>

- * のどかな小春日和の景色が浮かびます。草刈機の唸りが聞こえそう。
- * 草刈りの音と漂う草の香もこの季節になると、もの悲しさや寂しさが先に立つ。
- * 雑草バスターズの襲来 遠くに聞ゆで 秋の長閑さも感じられます。

写真投稿

iSAMU



彼岸花

- * クリーム色ですね。彼岸花は赤とばかり思っていたのですがピンクも見かけました（北切雀）。

- * 作者さん、読者さん、いつもご協力ありがとうございます。多々ある不備、不手際のお見逃しも感謝です。
- * 師走12月の兼題は梵木さんから「クリスマス」、令和2年睦月1月は久芽さんから「冬の遊び」と出ています。
- * 霜月11月号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた2作品の番号を投票して下さい。
- * 句とは別に、写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら「写真いいね!」として投票下さい。
- * 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。短歌、川柳も大歓迎です。
- * 霜月11月への投票、師走12月号作品への投稿の締め切りはともに12月20日です。
- * 随想、珍事報告など書き込みの他、読者さんからの写真や句の投稿、兼題提案もお待ちしています。

「写楽句会」(五十音順)

池福楼、iSAMU、一枝、北切雀、準坊、隅っ孤、沈丁花、千泉、久芽、昼寝覚、梵木

写楽句会 連絡先: kinuko_thompson@hotmail.com

© 2019 Sharakukai 筆責: 北切雀 校正: 準坊、池福楼

<http://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html> または

四季の森空間 <http://isamusouma.web.fc2.com/>